

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】膵頭部癌門脈合併切除例における血管切除範囲・再建法とその治療成績の検討－日韓多施設共同研究－

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科

【研究責任者】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 助教 坂元克考

【研究代表者】

東京医科大学 消化器・小児外科学分野 准教授 永川 裕一

【研究の目的】

膵臓の周りには門脈と呼ばれる大切な血管があります。膵頭部癌では、根治手術を行うため、門脈に癌が入り込んでいても積極的に門脈合併切除を行い、その血管の再建術をしております。しかしその門脈の切除範囲は癌の広がりによって大幅に変わり、どこまで切除するのが安全で予後改善に寄与できるのか明らかになっておりません。本研究では、日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医の認定修練施設あるいは韓国肝胆膵外科学会の会員施設において、膵頭部癌にて門脈合併切除を行った患者さんのデータを調査し、門脈切除範囲やその再建法とその治療成績を明らかにします。これにより難治性癌である膵癌の治療成績向上に繋がる可能性があると考えております。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2013年1月1日から2016年12月31日の間に膵頭部癌にて門脈合併切除膵頭十二指腸切除術を受けた方

(利用するカルテ情報) 年齢, 性別, 治療前採血データ, 膵癌の切除可能性分類, 術前治療, 手術成績, 術後治療などに関する情報や予後データを収集します。

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した症例報告ファイルを簡易書留によって東京医科大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327